

## 奈良マラソン開幕

奈良マラソン2014は平成26年12月13日、奈良市法蓮佐保山4丁目の奈良市鴻ノ池陸上競技場で開幕した。

マラソン、10km、3kmジョギングの各種目に出場する約1万9千人のランナーが全国から来場。初日は開会式と3kmジョギングが行われた。

「奈良マラソン」は今回が5回目の記念大会。この日は午前10時にランナー受付が始まり、同11時15分からのステージイベントでは、県のマスコットキャラクター「せんとくん」らのダンスパフォーマンスがにぎやかに繰り広げられた。

開会式では大会会長の荒井正吾知事らがあいさつ。招待選手の紹介や選手代表の選手宣誓も行われた。

エキスポエリアでは県の特産品などが販売され、全国のB級グルメなど40店舗が軒を連ねる「食べる・楽しむゾーン」にも、受け付けを済ませたランナーが次々と訪れた。同エリアは14日も開かれた。

午後はバルセロナ五輪の銀メダリスト、有森裕子さんが陸上競技場でランニングクリニックを行い、ウォーミングアップの仕方やランニングフォームをきめ細かく指導した。

午後2時15分に3kmジョギングがスタートし、終了後有森さんのトークショーも行われた。

14日のマラソンを前に、会場は終日ランナーの熱気に包まれた。



## 開会式

開会式は午前11時30分から、陸上競技場前のエキスポ会場イベントステージで行われた。

大会会長の荒井正吾知事は、県のマスコットキャラクター「せんとくん」とステージに立ち、「良い天気にも恵まれたが、寒さには気を付けて走ってください。海外の参加者も多く、冬の和路の風情を楽しんでほしい」と集まったランナーにエールを送った。

マラソンコースにあたる奈良、天理両市の市長もあいさつに立ち、仲川げん奈良市長は「走るだけでなく、多くの人たちと交流して思い出に残る大会にしてほしい」とあいさつ。

並河健天理市長は「日本で一番古い山の辺の道沿いを走り、歴史の奥深さも感じてください」と歓迎した。

スペシャルゲストのバルセロナ五輪銀メダリスト、有森裕子さんも笑顔で登場し、「今年もやってきました。皆さんの走りを全力で応援します」と激励した。韓国のトップランナー3人を含む招待選手の紹介の後、フルマラソン男子3連覇の平田治選手が力強く選手宣誓した。



## エキスポ

「奈良マラソン2014」の主会場となる鴻ノ池運動公園では、ランナーだけでなく来場者全員が楽しめるエキスポが開催された。

県の名物や全国のB級グルメなど40店舗以上が集まる「食べる・楽しむゾーン」、スポーツ用品などがそろった「物販・暮らし・健康ゾーン」に加え、「奈良の魅力ゾーン」「スポンサーゾーン」など80の企業・団体のブースが並ぶ特設スペースが、初日から大盛況となった。

このうち、ランニング用品を扱う「ステップ」のブースには、開幕直後から多数の買い物客が訪れた。お目当てのシューズとウェアを購入した沖野吉玉さん(57)＝愛知県＝は「いろいろなメーカーの製品を一度に見られるのが魅力」と話した。

県内に本拠地を置く、サッカーのクラブチーム「奈良クラブ」、プロバスケットボールの「バンビシャス奈良」も出展し、活動をPRした。

また今大会が5回目の節目であることから、記念特別展「大和路からのエール」も開催。これまでの各年の大会を、オリジナルグッズや映像で振り返った。



## 笑い飯一哲夫さん10km種目参加

奈良市出身の西田幸治さんと桜井市出身の哲夫さんの漫才コンビ「笑い飯」が県ゆかりのタレントらが大会を盛り上げた。

当日まで名前が明かされない「シークレットランナー」に選ばれたのは哲夫さん。学生時代にサッカーで鍛えた脚で快走し、ゴール後も余裕の笑顔でファンらの握手に応じた。漫才のステージにも立ち、大きな笑いで会場を温めた。

橿原市出身のタレント江利奈さんも最後まで声援を送り、頑張ったランナーらに笑顔をプレゼント。ご当地アイドルの「ルシャナ」や「ミラクルビクトリー」もステージやトラックで元気をふりまいた。



## スポンサーPRタイム

特設ステージではスポンサーのPRタイムもあり、特別協賛の「天然湧出温泉ゆららの湯」は、奈良、押熊の両店に前年導入した炭酸泉を紹介した。

同温泉経営の新英の小山貴之課長と、曾我末美奈良店マネージャーが登壇。「血流がよくなり、リラックス効果もあると言われている。走った後、炭酸泉で疲れて取ってもらえたら」と効能を述べた。

また、小山課長は「大会を支える関係者、ボランティアの皆さんの熱意に、毎年勇気をもらっている。奈良の一大イベントに定着してうれしい」と話した。



---

## ゴミ回収ボランティア

---

ボランティアが、飲食・物販のエキスポ会場で、ごみの回収ボランティアにあたった。

大会2日間にわたり、3カ所のごみ箱の横に常駐して分別を案内。ごみでいっぱいになった袋を集積テントに運搬した。

大和ハウス工業奈良支店の高尾武志さん(29)は「フルマラソンに出場した昨年は、ボランティアの存在がありがたかった。今年は恩返しできれば」と話していた。



---

## 大会スポンサーから副賞贈呈

---

入賞者の表彰式では、特別協賛企業などから副賞が贈られた。

奈良トヨタグループは、菊池攻社長がトヨタの高級車ブランド「レクサス」のトートバッグやジョギングセットを贈呈。

天然湧出温泉ゆららの湯は、同温泉を経営する新英の浜田泰爾専務が、スポーツウェアやタオルセットなどを贈った。

このほか、アシックスジャパンはランニングウォッチなどを贈り、健闘をたたえた。



---

## 県庁前で県庁バサラ披露

---

県庁前で元気よく踊りを披露したのは、県職員らでつくる「県庁伐折羅(バサラ)隊」の10人。奈良市の夏を彩る「バサラ祭り」にも参加している。

今回で2度目の応援。隊員らはバサラ祭りでの踊りのほか、人気アニメ「妖怪ウォッチ」の主題歌などで舞を披露。沿道の見物客、ランナーからも歓声、拍手が沸き上がった。

隊員の宇野博之さんは「ランナーに元気を送ったが、逆にパワーをもらった」。



## 和太鼓勇壮、応援力強く

奈良市の平城宮跡前では前年に続き、県立奈良朱雀高校和太鼓部の演奏が走者を元気づけた。

同部は奈良工業高校時代に創部。今年で21年目を迎えた。

朱雀門を背景に1、2年生の部員が大太鼓などで、勇壮な太鼓演奏を披露した。

同校2年の久保田将君(17)は「精いっぱい、応援しました」。



## 三輪そうめんで力つけて

奈良市高樋町の天理教白川グラウンド近くでは、県三輪素麺工業協同組合が、そうめん約8000食をランナーに振る舞った。

この日は、同組合の職員らが午前3時ごろから、そうめん約190キをゆがいて準備。県立山辺高校の生徒もボランティアで参加し、そうめんの盛り付けやランナーへの配布を手伝った。

同組合の池側義嗣理事長は「三輪そうめんは1200年の歴史と伝統がある。県の特産品の一つである三輪そうめんを食べて、力をつけてもらえれば」と話していた。



## 大会を支える7社に感謝状

主会場、奈良市鴻ノ池運動公園で、中心スポンサーとして大会運営を支えてきた協賛企業への感謝状贈呈式が行われた。

感謝状を贈られたのは、株式会社新英 天然湧出温泉ゆららの湯▽JAグループ奈良▽奈良トヨタグループ▽アシックスジャパン▽南都銀行▽近畿日本鉄道▽奈良日産自動車—の7社。

会場内の「奈良マラソンEXPO2014」に設けられたステージで、大会会長を務める荒井正吾知事が各企業の代表者に感謝状を手渡し、「奈良マラソンへの深い理解とともに大会の開催に多大なご協力いただいた」と感謝の思いを伝えた。

第1回大会からメインスポンサーとして奈良マラソンを応援している株式会社新英 天然湧出温泉ゆららの湯の浜田泰爾専務取締役は「第5回大会という大きな節目にこのような感謝状をいただき、大変、ありがたく感じている。魅力あふれる県に多くの方が来られ、健康とスポーツを通じて地域がますます盛り上がるよう、これからも応援していく」と述べた。

